

みのかも文化の森のタカラモノ

No.
11

文化の森では、美濃加茂市の先人 津田左右吉の遺品や自筆原稿などを所蔵・紹介しています。

さて、津田の著作「子どもの時のおもひで」には“ヤマモトといふ村の(略)スハ神社のお祭りに二輜の山車があつて、(略)わたしは、ケンシンのほうがすきであつたやうなきがする”とあり、子ども時代を過ごした下米田の農村風景や生活が描かれています。

先日私たちは、それを手にして登場する場所を巡りました。現地で津田の文章を読むと、見慣れたはずの風景がいつもと違って見えました。文化の森の所蔵品には、この時代や地域を見つめ直すきっかけとなるものがあります。

